

編集後記

梅雨も明け、猛暑が始まるこの頃となりました。皆さま、体調はいかがでしょう？いつも「臨床神経学」に多くの論文投稿をありがとうございます。先の第65回日本神経学会学術大会にて大会長の戸田達史先生は“なおらない”から“なおる脳神経内科”への変革の時代の講演をされました。「臨床神経学」では最近、各分野の進歩が書かれた総説が多く、それぞれの疾患を克服する道筋が理解でき読み応えがあります。「臨床神経学」の魅力は総説の充実であると思いますが、私は多くの投稿がある症例報告も大好きです。日本語で書かれていて読みやすく、また神経学の雑誌ゆえにただ検査から導き出された結論のみではなく、神経症候が詳細で、症候の解釈や、推定される病変部位、臨床推論と鑑別診断、さらに診断を決めた事実がしっかり考察されていることが素晴らしいです。説得力のある症候や、検査、画像検査等がしっかりビジュアル化されてい

ば完璧です。また投稿した先生にとっては、査読を通じて国内の権威の先生方の教育的な意見をいただける利点もあり、ブラッシュアップされて苦勞して診断に至った症例が世界中にオープンにされる貴重な機会となります。今の脳神経内科学は、診断しても原因がわからず治療の糸口さえ見いだせなかった難治性神経疾患が、分子遺伝学の発展などにより徐々にその病態が遺伝子レベル、分子レベルで解明され、その先にいよいよ原因療法、疾患修飾療法の開発が進められています。しかし難病研究は目の前にいる一人ひとりの患者さんから詳細に問診を聴取し、神経学的所見をしっかりとる日々の診療から始まります。我々にとって日々の臨床が教師であり、論文を書くことは、自分のキャリアアップに直結し、“なおる脳神経内科”への一石であるわけです。これからも多くの投稿をお待ちしております。

(坪井義夫)

〈編集委員〉

編集委員長 小野寺 理 編集副委員長 三澤 園子
編集幹事 石浦 浩之 漆谷 真 杉江 和馬
編集委員 今井 富裕 木下 真幸子 古賀 政利 櫻井 圭太 柴田 護
下畑 享良 鈴木 匡子 辻野 彰 坪井 義夫 中嶋 秀人 新野 正明

「臨床神経学」 第64巻 第8号 2024年8月1日発行
編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 西山 和利
印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>